

愛知県・K邸

case

02

ガレージの床に敷きつめた木レンガでブリティッシュのようなスタイルに。

クルマが2台格納されるガレージスペースには、木レンガが敷き詰められたこだわりのガレージとなった。
米松を加工することで床材とした木レンガには、メリットとデメリットがあった。

Photo/Keigo-KIMURA(木村圭吾) Text/Jun-ISHIHARA(石原 淳)



1台分
約00㎡

00万0000円(●●)

MERIT

- 床の仕上がり美しい
- 個性的なガレージの確立

DEMERIT

- ▲ 木のため収縮する
- ▲ 汚れの付着を覚悟

木レンガ





レストアベースのホンダ・Dax を手に入れたKさん。自動車部品関係の仕事の関係もあり、整備、分解、組み立ては苦にならないとか。これから時間をかけてバイクを仕上げていく。

SPECIAL 床仕上げを考察しよう！

床に敷き詰めらえた木レンガは、約1600個。Kさん自らボンドで施工をしていたものの想像以上に時間を費やしたという。

オーダーで仕上げたこだわりのガレージハウス。

愛知県に2019年2月に竣工したKさんのガレージハウス。愛知県でガレージのある家を積極的に展開している『岩橋建築』が設計した木造在来工法で建てた邸宅である。ガレージにはご主人が通勤で使用しているマツダ・ロードスターと奥様がドライブする家族で乗るルノー・カンゲーが収納されている。注目すべきは床に敷き詰められた木レンガである。

この木レンガは『岩橋建築』が開発した商品で、米松をベースに加圧注入することで防腐、防虫を考慮したもので、基礎のベースの上にセメント用ボンドで床面に敷き詰めたものだ。もちろんメリットとデメリットがあるので施主のKさんは理解をしたうえでこの木レンガを選んだというので、誰にでもおすすめをする施工ではないというが、このガ

レージには施主のKさんが自ら約1週間かけて1600個を敷いたという。

最大のメリットは、他の商品では表現ができないリアルウッドの美しい表情という。デメリットは時間が経過して馴染んできたタイミングでの撮影ではあるが、すでに施工した木は縮んでいることが分かるだろうか。素材が木のため5カ月乾燥させた木材を使用しているが湿度と含水率の関係で木が縮むことで割れや、反りが生じる可能性があることを理解することが必要であった。施主のKさんは、そこを『岩橋建築』岩橋社長にしっかりと説明を受けたくうえで、どうしても自分のガレージにこの木レンガを施工したかったと語る。

なぜならガレージのコンセプトが重厚感のあるブリティッシュスタイルを望んでいたためレンガをガレー

ジに敷き詰めることも候補の1つだったという。ただし、レンガを施工するとコストが上がるうえに、施工に手間がかかるため、メンテナンスに手間のかからない木レンガにKさんは興味を持った。木レンガは厚さ50mmあり、かなりしっかりしているので反る可能性が少ないほか水の心配をする人も多いと考えるが隙間に水が落ちることで排水に関しては問題はないという。この木レンガにキシラデコールの塗料を塗ることで防水の対策を施している。

サラリーマンであるKさんは、毎日施工現場に足を運びながらガレージが建つ様子を見守った。そしてこの木レンガの施工はKさんが自ラ行い1週間かかったという。しかし、仕上がったガレージは格別で、唯一無二のガレージに。建築当時はガレージにはマツダ・ロードスターとBMW ミニが



木目を基調に注文住宅として『岩橋建築』に依頼したK邸。クルマのこと、ガレージのことが分かる設計事務所を探していたところ、HPで見つけて打ち合わせはスタート。



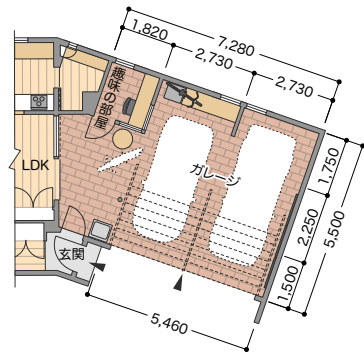
左／レージの背面に Panasonic 製のシンプルな換気栓を設置。ガレージに排気ガスがこもったときにスイッチをオンにする仕組み。
下／ガレージと母屋の入り口に、水道のシンクを設置。水とお湯が使えるように配管され、ガレージ作業を終えて汚れを落とすことが可能。



設計時に依頼したワークスペースは、木製のドアを開めればプライベートな空間。このスペースでパーツの分解や組み立てを実施する。

入っていたが、現在は子どもが2人になりカンゲーに乗り換えた。ガレージ施工時に排気ガスを処理するために換気扇も設置したが、自作の排気ガス排出パイプも設置して屋外に出す工夫をしている。そしてワークスペースにはご主人が電気パーツをばらすためのデスクを用意。パーツをばらして清掃したり、カスタマイズする部屋として活用している。

ガレージと隣接したリビングは、大きなウインドウがありつねに家族の視線が届くように配慮されている。ガレージにはホンダ Dax のレストアボディが置かれ、パーツをそろえたところ。時間を見つけてはバイクのレストアをしていく予定だ。奥様や家族の理解もあり、ガレージハウスを建てる夢がかなったKさんは、木レンガが1600個敷き詰められたガレージで、クルマ、バイクの整備をガレージで満喫する予定だ。



株式会社 岩橋建築

愛知県半田市板山町13丁目154番1
Phone/0569-27-7492
https://www.iwahashi-home.co.jp/

今回のKさんであればガレージに木レンガを施工しても大丈夫と打ち合わせをして施工しました。やはり木なので縮むことを理解してもらえないと、なかなかおすめはできません。施工した結果、ほかにはない個性的なガレージに仕上がったと自負しています。

不燃材をガレージの壁面に採用。スポットライトにてライティングした壁面にはGT40をモチーフにした絵画が飾られた。



SPECIAL  ISSUE
床仕上を考察しよう！

特殊な加工をすることで、唯一無二のガレージに。



あらかじめ冷蔵庫と工具ケースを設置するスペースを用意。工具ケースは、ステッカーでドレスアップをした。

左／モルタルの土台にはあらかじめ穴をあけてモーターを設置。ホームセンターで購入したアルミのパイプをつないで排気ガスを排出させる装置をDIYにて自作した。
右／『三和シャッター』製オーバースライダーを導入したK邸。木目の色調が母屋と合わせることでシャッターの採用が決定した。



Planning Data

施主 ● Kさん
家族 ● ご夫婦、子ども2人
敷地面積 ● 約353㎡
ガレージ面積 ● 約40.22㎡
愛車 ● 2001 年式マツダ・ロードスター
2019 年式ルノー・カンゲー
ホンダ Dax

OWNER'S CHECK

- 一番気に入っているところは？
ガレージとリビングのつながりがダイレクトで気に入ってます。オーバースライダーの開閉も速く、気持ちいいですね。
- ちょっと失敗したところは？
床が汚れることが気になるので、汚れる作業ができない(笑)。
- 次の夢はなんですか？
理想のガレージが完成したので、ガレージライフを目いっぱい楽しみたいですね。将来は自分で組んだクルマをドライブしたいですね。
- 読者へのアドバイス！
おそらく一生に1度の家づくりなので、こだわりを持って全力で。本当の意味でいっしょに家づくりできる工務店やメーカーを見つけてください。

愛知県半田市の事務所に建築された
オクタゴンという珍しいデザインの木造
ガレージ。クルマのドアを開けたときの
効率を考えて生まれたデザイン。

case 03

愛知県・岩橋邸

ヘキサゴンの形をしたガレージの床は、 アルミ製の縞鋼板を敷き詰めた。

2012年にショールームも兼ねて建築したガレージの床に敷き詰めたのは、アルミ製の鋼板材。

8年が経過して床はどのような状態を維持しているか。

編集部がじっさいに現場の床をチェックさせていただいた。

Photo/Keigo-KIMURA(木村圭吾) Text/Jun-ISHIHARA(石原 淳)



1台分
約00㎡

00万0000円(●●)

MERIT

- コストが安い
- 加工が簡単

DEMERIT

- ▲ 傷がつきやすい
- ▲ 錆びる可能性がある





スカイラインは2台目の所有となる岩橋さん。代表自らクルマ好きが高じて、事務所横にガレージを建築。ガレージハウスの打ち合わせ時にサンプルとして活用している。

床にクリア塗装をかけることで、水や湿気から腐食を防止。

愛知県半田市で35年以上、創業をしている『岩橋建設』。ここ数年、ガレージの建設にも力を入れている。なぜならば代表の岩橋和雄さんも、クルマが大好きなエンスーアジャスト。代表の愛車は1970年式ニッサン・スカイラインGT-R、通称ハコスカ。建築事務所には、2012年に木造在来工法を用いて、ガレージが建築された。このガレージはショールームも兼ねていて、クルマのドアを開けてもスペースが効率よく取れることを考えて、スクエアではなく8角形のデザインをしたオクタゴンのガレージ。

編集部が目じたのは床材として採用したアルミ製の縞鋼板材。この縞鋼板という材質はバスや

トラック、特殊車両などの床やステップに採用されるなど耐久性に優れている素材。シンプルなアルミの鋼板よりも、強度を保つためにリブが入っているため縞鋼板とも呼ばれている。最大のメリットは加工がしやすいことと、コストが非常に安いことだという。モルタルで施工した床のうえにサイズを正確に測定し、ち密な計算によりアルミ鋼板をカットしボンドで固定して敷き詰めた。オイル漏れをしても染み込まないので拭き取れるほか、錆び止めのクリア塗装をすることで施工から8年が経過してもきれいな状態で残されている。

デメリットといえきちんと固定をしないとタイヤのグリップにより板が動くリスクと、きちんと加工をし

ないと錆びる可能性があることくらい。あらかじめ表面にはリブが付いていることから、滑り止め効果があるのでガレージは向いているという。スバルタンな印象を与えられるので、GT-Rにもマッチングがよかったと代表は語る。そもそも、施工から8年が経過しているがこのようにガレージの床に採用しても問題がないというのは、このガレージで実証済みということである。

さて、このショールームを兼ねたガレージの天井高は6.8mと非常に高い、なぜなら将来、リフトを入れてクルマを2台にすることや、ロフトを設置することを考慮して高く設計したのだという。ガレージには、ビンテージのタイヤラックや、GT-R



ガレージのライティングは天井から吊るされたヴィンテージスタイルのライト。天井には1灯しかないが、非常に明るくガレージを照らしてくれる。

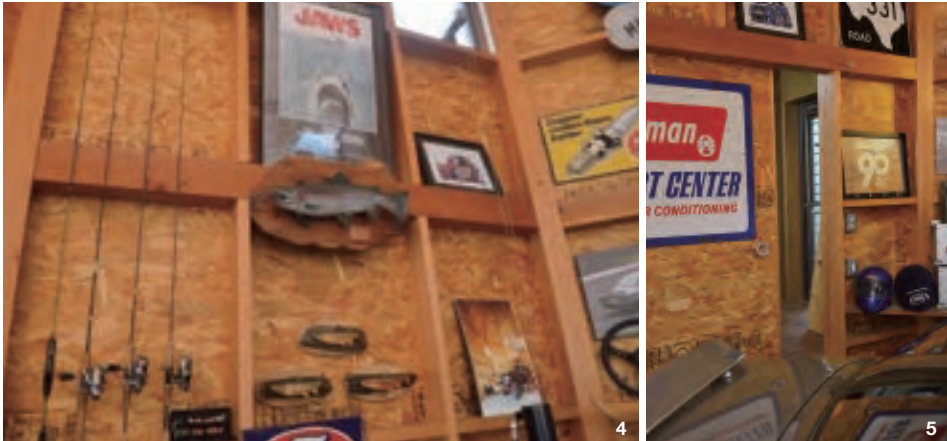
のパネル、キャブレターを加工してディスプレイするなどクルマ好きが気になるアイテムが並ぶ。また、代表が趣味で楽しんでいるマスの釣り竿や剥製などを保管するスペースとしても活用している。個室にアクセスするドアの取っ手がファンネルであったり、ガレージドアにコンロッドを採用するなどクルマ好きにはたまらないギミックが随所にみられるのもアクセントになっている。

ガレージに収納されているGT-Rは1970年式。プリンス自動車工業を吸収合併した日産によって開発されたスカイライン、通称ハコスカと呼ばれているモデルだ。車体番号が0`20番まではレース用に開発されたクルマで、ここにある1台は28号機の初期モデルである。ボディから、エンジンまでレストア済みクルマを手に入れることができ、ガレージにて保管している。このマシンのステ

アリグを操り、仲間たちとカーミーティングに出かけて情報交換をしている。このガレージを建築してから、ガレージに対する知識も深まり、ガレージハウスの設計やオーダーなどに対応するなど、大きな進歩を遂げたという。

代表が3代目を務める『岩橋建築』では、注文住宅をはじめガレージの建築を今後も積極的に手掛けていく予定だ。今まで手掛けたガレージハウスの実績のほか、このガレージのようにじっさいに自分で使用することで細かな仕上げや、クルマ好きが気に掛けるポイント、広さなどの実体験を伝えることにより、よりきめ細かなガレージを提供していくことがモットーだ。前ページで紹介してる木レンガや、自作による排気ガス排出システムなども実験をしながらも、楽しいガレージの楽しみ方を提案していく予定だ。

エアコンや断熱など特殊な施工はなくとも、クルマ、床は施工当時の姿をキープ。



1 / ガレージに配置された大型ツールボックスは通信販売で購入。木製の天板を設置してクルマに搭載用のKTC製のコンパクトなツールボックスを用意。薪ストーブのための巻き割り機もガレージに。 2 / オークションで手に入れたブリヂストン時代のタイヤラックを加工して2段にカスタマイズ。愛車の時代背景に合わせている。 3 / ガレージに採光を取り入れるために窓を設置。窓を利用してラジコンカーやミニカーなどがディスプレイされる。 4 / ガレージの壁面を使ってトラウト用の竿と、トラウトの剥製が飾られる。ガレージは趣味のアイテムでいっぱいだ。 5 / ガレージの奥に用意された打ち合わせルーム。引き戸の取っ手はファンネルが使われた。スペースは広くないが小部屋として活用している。

Planning Data

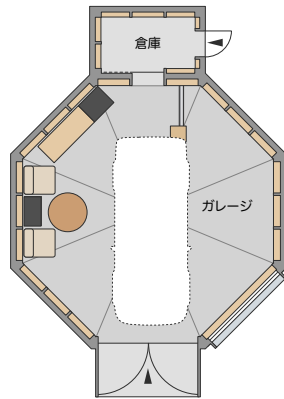
施主 ● 岩橋和雄さん
所在地 ● 愛知県半田市
構造 ● 木造在来工法
外壁 ● サイディング
内装 ● 現し
愛車 ● 1970年式ニッサン・スカイライン

OWNER'S CHECK

● 一番気に入っているところは？
ほかのガレージにはない、オクタゴン（八角形）のガレージのスタイル。ショールームも兼ねているので、デザインは狙ってみました。

● ちょっと失敗したところは？
将来はリフトの導入や、ロフトを考えていましたが1度建ててクルマを入れてしまうと、なかなか次のプロジェクトは手につきませんね。

● 次の夢はなんですか？
クルマが好きな人に、ガレージやガレージハウスの建設のお手伝いをしたいと考えています。



株式会社 岩橋建築

愛知県半田市板山町13丁目154番1
Phone/0569-27-7492
<https://www.iwahashi-home.co.jp/>

ガレージのドアはスチール製。会社のイメージキャラクターのカバと、クルマの形式10がカットされガレージの覗くことができる。ドアハンドルは前エンジンのコンロッドだ。